

教校部「真宗教学史」平田厚志

講義テーマ（内容）：「近代（明治期）本願寺派教学の思想史的展開」

目的・ねらい：近代（明治期）本願寺派教学史を思想史的視座から概観する。思想史的視座から見るということは、明治期の宗教思想（仏教、神道、キリスト教、新宗教、日本主義、西洋合理主義など）を有機的・対抗的な歴史的展開の総体として捉えるということであり、宗派教学史を概観する場合も、予定調和的に自己完結的に捉えることから自由でありたいと思う。そのような視座から捉えることによって、宗派教学の現代的課題を探りたい。

講義概要：①近代（明治期）仏教の思想史的展開の概観

- ②明治初年の政府の宗教政策
- ③島治黙雷の「大教院分離」運動
- ④学林の改革と学校制度の発足
- ⑤近代布教制度の展開と多様な布教活動
- ⑥海外開教と鏡如宗主のアジア主義
- ⑦天皇制国家の諸政策と教団の戦争協力
- ⑧部落問題と教団の対応
- ⑨真宗教学史の現代的課題

プロフィール：生年/1944年

出身地/山口県

専門分野/真宗思想史（特に近世・近現代）

関連分野/近世・近代思想史、日本文化史、日本仏教史

所属学会/龍谷大学史学会、仏教史学会、近代仏教史学会、

日本史研究会

研究課題/「真俗二諦論」の歴史的展開と現代真宗教学の課題

編著書：著書/『真宗思想史における「真俗二諦」論の展開』

龍谷叢書IX、2001年刊

編著/『浄土真宗異義相論—「承応の閼牆」を発端とする本願寺・興正寺一件史料—』龍谷大学善本叢書20、法蔵館、2008年刊

編著/『西本願寺周囲惑乱一件史料 第一巻』

龍谷大学善本叢書30、法蔵館、2013年刊